

令和4年度授業改善推進プラン

清瀬市立

小学校 第6学年

	授業における課題や学力調査資料から見えた課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 言語に関する基本的な知識・技能(漢字・読解)を定着させること。 <p><思考力・判断力・表現力></p> <ul style="list-style-type: none"> 伝えたいことを明確にし、分かりやすい書き方について意識しながら文章を書かせること。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が聞かれていること、分かっていることなどに色分けをして線を引きながら文章を読む活動を行わせる。 既習の漢字を用いた文章作りや自主学習の取り組みなどを見合う活動を通して自己に生かすようにさせる。 学習の中で、文型を示し、当てはめて文章を書く練習を繰り返し行い、表現の仕方に慣れる。また、簡潔にまとめて書く練習を繰り返して行い、文の書き方を定着させる。 	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 線を引く意識が高まり、話の要旨をとらえることができる児童が増えた。 既習の漢字を使う意識が高まり、漢字を使って文を書く児童が増えた。 <p><思考力・判断力・表現力></p> <ul style="list-style-type: none"> 作文では、伝えたいことを明確にして、書くことができる児童が増えた。
社会	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史上の出来事や人物のはたらきについて調べ、大まかな歴史の内容を理解させること。 <p>(思考力・判断力・表現力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真や資料から情報を整理し、まとめさせること。 	<ul style="list-style-type: none"> グラフや表の読み取り方について、視点を与え、必要な情報を取り出しやすくさせる。 図書室やタブレットを活用して資料を探し、資料を読み取り、情報を整理、まとめる活動を増やす。 	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> タブレットを使用して、さらに調べたいことを進んで調べ、知識を深める児童が増えた。 <p>(思考力・判断力・表現力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の資料があると情報を整理するのが困難児童が数名いるので、習熟度委の応じた資料の提示が課題である。
算数	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 分数の乗法・除法の意味について理解を深め、計算力を付けさせること。 角柱の体積を求めることができるようにすること。 <p><思考力・判断力・表現力></p> <ul style="list-style-type: none"> 割合(比も含む)について理解し、該当する数量を求めたり、問題解決に活用させたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝学習や家庭学習、授業の導入の時間を活用して、繰り返し計算問題に取り組みせ、計算力を定着させる。 「補充の問題」に取り組みせ、学習内容を活用して解決しなければいけない実生活にあるような問題に触れる機会を多くする。 	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 習熟度別に学習を進めたことで、計算に苦手意識がある児童も粘り強く自力解決ができるようになってきた。 実生活と結び付けた問題を意図的に出すことで量感の定着につながった。 <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> データの特徴や傾向に着目し分析する活動では、根拠を示しながら説明できるようになった。 割合の(比も含む)問題は、時間が経つと混乱してしまう児童もいるため、復習時間を確保していく。
理科	<p>(思考力・判断力・表現力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 予想や仮説を基に、解決方法を予想させること。 実験や観察結果から、考察すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 予想を立てるときの視点を明確にし、自分の生活経験も踏まえながら考えさせる。 どのような要因で起きている事象なのかを調べるために、どのような条件を制御したらよいかなど、視点を明確にして考えさせる。 実験結果から分かったことを個人の考えからグループ、学級へと広げていき、自分たちの言葉でまとめさせる意識をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 班ごとの実験結果を発表させることで、正確に実験を行う意識を高めることができた。 生活経験の違いから予想の広がりが見え、児童によって差が出た。
音楽	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏させること。 音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けさせること。 <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもたせること。 曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 互いの演奏を聴き合う機会を設けたり、曲全体における各声部の役割を確認したりする。 録音した演奏を聴き、自らの演奏をふり返る機会を増やす。 様々な表現方法を試し、歌唱表現を工夫する楽しさを味わわせ、思いや意図を膨らませられるようにする。 工夫した表現を互いに聴き合いながら、表現のよさを伝え合う活動を取り入れる。 曲の雰囲気や表情の変化を味わって聴けるよう、意図的に曲を部分的に聴き、話し合う機会を設定する。 	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 主旋律を目立たせるために、音色や音量のバランスに気を付けながら、周りの音に合わせて演奏させることができた。ICT機器を活用して演奏を振り返ったりすることが有効だった。 音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けさせることができた。様々な組み合わせを試しながら音楽をつくっていく活動が有効だった。 <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて、思いや意図をもたせることが不十分だった。様々な表現方法を試したり工夫したりする活動が必要だった。 曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わってきくことができなかった。音楽の構造と曲想を結び付けるための話し合いの時間を十分に確保することが必要だった。
図画工作	<p>(思考・判断・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> 見つけた主題に合わせて、既習の表現方法や道具、材料を工夫する表現力を高めさせること。 	<ul style="list-style-type: none"> 主題に合わせて色の組み合わせによる感じ、奥行きなどを工夫して、より効果的に表現するにはどうすればよいか試行錯誤させる。材料や道具をいつでも試せるように場を設定し、子供同士で作品を見合う機会を設けて、工夫し続ける動機づけと環境づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 見つけた主題に合わせて表現方法を工夫して制作に取り組みさせることができた。一方で、単元の中盤から終盤にかけて意欲が落ちてしまう場面があり、意欲をもって粘り強く取り組ませることが課題である。
家庭	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 裁縫や調理など、日常生活に必要な基礎的な技能を定着させること。 <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 自らの課題を解決するために、実践方法を考えさせたり、友達に伝え合わせたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習と連携を図り、裁縫や調理の仕方について保護者の支援を得ながら、学校と双方で協力をして学習を進めていくようにする。 グループ学習を積極的に取り入れ、裁縫や調理の仕方について、友達同士で互いに教え合う時間を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返し裁縫や調理などの活動を行うことで、基礎的な技能を身に付けさせることができた。また夏休みに調理の課題を出したことで、保護者とも協力・連携できた。 グループで教え合うことで、お互いの考えが分かり、思考力が高まった。
体育	<p><思考力・判断力・表現力></p> <ul style="list-style-type: none"> 各種の運動について、動きや技のポイント、自分の課題を見付けさせること。 <p><学びに向かう力、人間性></p> <ul style="list-style-type: none"> 自己の心身の健康への関心を高めさせること。 	<ul style="list-style-type: none"> グループでの活動を積極的に設定し、互いに動きや技の様子を見合い、アドバイスをし合うようにする。また、タブレットを活用して、自分を動画で取り、動き方を改善させるようにする。 課題別に場を変えるなどの場の設定を工夫する。 体育の授業や体力向上旬間などを通して様々な運動に親しめるようにする。起こりうるけがや事故について、授業前に必ず確認し、安全に気を付け取り組ませるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> タブレットで自分の動きを確認することで、自身の改善ポイントが明確になり、技能を高めることができた。 授業前に使う部位や安全面について指導することで、意識が高まり活動を行うことができた。
外国語	<p><学びに向かう力、人間性></p> <ul style="list-style-type: none"> 身近で簡単な事柄や地域の様子について、積極的に外国語を用いて話したり、聞いたり、カードに書いて伝えさせること。 	<ul style="list-style-type: none"> ALT講師との一人一人のやり取りの時間を設定し、伝えようという気持ちを高めさせる。また「間違ってもいい。とりあえず声に出してみる」といった楽しい雰囲気づくりを心掛ける。 聴覚だけではなく視覚を使って会話文の型を提示することで、安心して話せる環境づくりをする。 タブレットを活用して、英語の発音の仕方や文章の書き方を参考にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ALTとの会話のやり取りの時間を設定することで、徐々に自信が付き、意欲的に発表する児童が増えた。 タブレットを使って音声を聞くことで、正確な発音ができるようになった。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをもち、表現させること。 多様な考えに触れ、ねらいとする価値について自分の考えを深めさせること。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートなどを活用し、自分の考えをもち、書く時間十分確保する。 ペアやグループで話し合う場面を多くし、多様な考えに触れられるようにする。 タブレットを活用して、友達の考えを共有するようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートに書く時間を確保することで、発言が苦手な児童も自分の考えを書くことができた。 ペアで交流することで、多様な意見があり、考えが深まる児童が増えた。
総合的な学習の時間	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分で設定した課題を解決するために、必要な手段を用いて、適切な情報を集めること。 集めた情報を、取捨選択させること。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を集めるために、タブレットだけに頼るのではなく、学校図書館の資料も活用しながら取り組ませる。 どのように検索したら、情報を探し出せるのか、学級全体で情報共有する時間を設定する。 集めた課題を整理する時間を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> タブレットを使って資料を収集する技能は高まった。正しい情報が判断する材料を与えることで、さらに考えを深めることが必要であった。

※ 枠の大きさは適宜調整して、1枚に収まるように作成してください。

